

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第68号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年2月26日 08時23分ごろ	
発生場所	大分県姫島村 ^{ひめしま} 姫島灯台から真方位069° 9,300m付近 (概位 北緯33° 45.6′ 東経131° 47.7′)	
事故等調査の経過	平成21年3月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）のほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{ウィン ロン} WIN LONG (ベリーズ)、1,535トン 9254783 (IMO番号)、EASTERN GLORY SHIPPING LIMITED B 漁船 ^{りょうか} 漁華丸、4.79トン YG3-40935 (漁船登録番号)、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長A 航海士A、乙類 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首外板に擦過傷 B 船首部折損及びき裂	
事故等の経過	A船は、船長ほか10人が乗り組み、約9.5ノット(kn)の速力で、手動操舵により西進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、底びき網による漁ろうに従事して約4.5knの速力で、自動操舵により南東進してえい網中、平成21年2月26日08時23分ごろ、姫島東方沖において、A船の右舷船首とB船の船首とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、無風、視程 約4～5海里、視界 良好 海象：海上平穏、潮汐 上げ潮の末期、潮流 北西流	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、船橋当直中の航海士Aが、右舷前方から接近するB船に気付いたが、B船の見張りを行わなかったことから、B船がA船の右舷を通過すると思ひ込んだものと考えられる。 B船は、船長Bが、船尾甲板で漁獲物を選別することに意識を集中していたことから、見張りを行わなかったため、A船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、姫島東方沖において、A船が西進中、B船が南東進してえい網中、A船が見張りを行わずに航行し、また、B船が船尾甲板で漁獲物を選別することに意識を集中して、見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したのと考えられる。	

